

幸福度総合ランキング 全国1位



【生活・家族部門】 全国3位

トップクラスの子育て環境

高い出生率や、待機児童がゼロの保育所の整備率の高さなど、福井の優れた子育て環境が評価されました。

県では、結婚から出産、子育てに至る一人ひとりのライフステージごとに、切れ目なく応援する「日本一の子育て環境」づくりを推進しています。

全国で初めて、3人目以降の子どもについて、出産前の妊婦検診費や3歳に達するまでの保育料等を無料化し、経済的負担を軽減。また、従業員が子育てと仕事を両立しやすい職場づくりを進める企業等を応援するなど、社会全体で子育てをサポートする気運を高めています。

※以下の9の指標の総合評価

- ①合計特殊出生率、②未婚率、③転入率、④交際費比率、⑤持ち家率、⑥1人当たりの量数、⑦下水道普及率、⑧生活保護被保護実人員比率、⑨保育所収容定員比率

【労働・企業部門】 全国1位

日本一の雇用環境

失業率が低く、正社員の割合が高い福井の優れた雇用環境が評価を得ました。

県では、「ふくいジョブカフェ」において、若者と企業のマッチングを強力に進めるほか、景気情勢に応じた緊急経済対策を迅速に講じるなど、就業支援に力を入れています。

また、障害者福祉施設に専門アドバイザーを派遣し、施設で製作する商品の新開発や作業効率の向上による経営改善を支援するとともに、市町と協力して官公需発注を拡大し、障害者施設賃金をさらに高めています。

※以下の10の指標の総合評価

- ①離職率(離職非就業者率)、②総実労働時間、③有業率、④正社員比率、⑤継続就業希望者比率、⑥有業者の平均継続就業期間、⑦完全失業率、⑧障害者雇用比率、⑨欠損法人比率、⑩作業所(障害者の就労支援施設)の平均工賃月額の実績

【医療・健康部門】 全国9位

「健康長寿」先進県

福井は「健康長寿」先進県。男女ともに平均寿命が長く、要介護認定を受けていない元気な高齢者の割合も全国上位です。

お米や豆類の摂取量が多く、塩分控えめでバランスの良い福井の食生活のほか、3世代同居が多く、結び付きの強い地域の中で、高齢者が子育てや見守り活動などの役割を担いながら生き生きと暮らしていることが、健康長寿に良い影響をもたらしていると考えられます。

加えて、県では、健康長寿のさらなる向上を目指し、がん対策に力を入れています。

がん検診を受けやすくするため、全国で初めて、各市町の検診料金や受診券を統一したほか、電話による受診勧奨などを実施。また、県立病院陽子線がん治療センターでは、全国で最も少ない費用で最先端の陽子線がん治療を行っています。

※以下の9の指標の総合評価

- ①1日の休養・くつろぎ時間、②1日の趣味・娯楽時間、③1人当たり医療費、④10万人当たり病院+診療所の病床数、⑤10万人当たり医師数、⑥10万人当たり老衰死亡者数、⑦10万人当たり自殺死亡者数、⑧平均寿命(男)、⑨平均寿命(女)

【安全・安心部門】 全国1位

安全・安心の暮らしを実現

火事、犯罪、交通事故の少なさなど、福井の安全・安心な暮らしが評価されました。

これらは、人と人とのつながりや結び付きが強いという福井の特性を活かして、子どもの登下校時の見守り活動、自主防犯団体による活動など、地域総ぐるみの活動を進めてきた成果と考えられます。特に刑法犯認知件数は、平成15年以降9年連続して減少し、全国2位の減少率となりました。

このほか、共働き率が日本一の福井県は、世帯当たりの収入も全国トップクラス。高い貯蓄額が、経済面での安全・安心をもたらす、悩みやストレスの少なさにつながっているのではないのでしょうか。

※以下の12の指標の総合評価

- ①10万人当たり刑法犯認知件数、②10万人当たり公害苦情件数、③10万人当たり交通事故発生件数、④10万人当たり出火件数、⑤100万延総実労働時間当たり労働災害率、⑥1人当たり地方債現在高、⑦1世帯当たり負債現在高、⑧1世帯当たり貯蓄現在高、⑨65歳以上1人当たり老人福祉費、⑩手助けや見守りを要する者の率、⑪悩みやストレスのある者の率、⑫悩みやストレスを相談したいが誰にも相談できない者の率

「幸福度日本一」の福井ならではの魅力を再発見
昨年、法政大学の研究チームが「幸福度」の都道府県ランキングを発表。総合評価で福井県が「幸福度日本一」として評価されました。この研究では、「労働・企業」、「安全・安心」、「生活・家族」、「医療・健康」という4つの部門を設け、地域住民の幸福度を端的に示すと考えられる40の統計指標から幸福度の順位を決定しています。今回は、この研究で明らかになった福井の特長や、こうした良さをさらに高めようと、県が進める活動を紹介します。